

学校だより

美 済



南砺市立城端小学校

令和7年2月25日

目標に向けて取り組む子供を支える -アクションプランについて-

教頭 嶋 倫子

今年度、城端小学校のアクションプランは、この3つでした。

**自分から毎日5人以上
に挨拶する子供 80%**

**eライブラリのドリル学習
で花を咲かせる子供 80%**

**「とやま元気こチャレンジ」で
コインを250枚以上集める
子供 80%**

eライブラリとは、タブレット端末を用いた学習ドリルです。市の補助を受け、1年から6年までの4教科と読解力スキル・英語を加えた6教科をタブレットで学習でき、城端小学校では宿題として課題を出したり自主的に予習復習に使ったりしています。繰り返し取り組むと、たんぼぼの種が育ち、花を咲かせる仕組みになっています。

城端小学校では3～6年生で算数の少人数指導を行っています。先日、ゆっくりチャレンジコースの子供たちと、内容を確認しながら進めていたときのことです。一人の子供が「私これ、eライブラリでやったから分かるよ」と言って、すらすらと問題を解いていきました。授業中の問いかけにも自信をもって答え、隣の児童に「これはね、・・・」と教え始めました。その子を中心に次々に練習問題に取り組んでいきました。学んだことを自分の言葉で伝えて整理することをアウトプットというのですが、予習や復習をし、友達と教え合い・学び合いをしてアウトプットすることで、学んだことを定着させていること、主体的に学んでいく過程の大切さを感じることができました。

子供たちは、自分で目標を立てて活動しています。中・高校生になると、自分で進めていく子供がほとんどですが、小学生の場合、活動の途中の励ましや見届けが欠かせません。授業でも、学び進めていくとちょっと不安になる子供には、「いいよ、合っているよ」と教員や支援員が確認しながら学んでいます。「ここ難しいから、eライブラリでやるわ」と授業の終わりに言っている子供もいます。学校の授業と家庭での自主学習、そして周囲の励ましによって自信をもって学び深めている子供たちの姿が頼もしく感じられます。

このアクションプランも、今ラストスパートです。すべての子供たちが、笑顔で挨拶、苦手な学習をしっかり復習、体力づくりもしっかり行って、学年末を迎えたいと思います。

城端小学校ホームページ
QRコード



<3月の主な行事予定>

- 3日(月) 集団登校・集団下校
地区児童会・学校集金
- 4日(火) 5限まで
- 5日(水) 5限まで ひだまり最終
- 6日(木) 5限まで スクールバス集会
- 7日(金) 5限まで 卒業を祝う会(3限)
- 10日(月) 委員会(最終)さわやかデー
- 12日(水) 卒業式予行
- 14日(金) 集団登校
- 17日(月) 卒業証書授与式
- 18日(火) 集団登校 スクールバス集会
全校5限後下校
- 19日(水) 集団下校
- 20日(木) 春分の日
- 21日(金) 給食終了
- 24日(月) 修了式(3限下校)

令和7年度当初の主な行事

※予定ですので変更になることがあります。

- 4月 8日(火) 始業式
- 4月 9日(水) 入学式
- 4月 19日(土) 学習参観・PTA総会
引き渡し訓練
- 5月 17日(土) 運動会



マナーを学び、感謝する心を育てる学校給食週間

1月20日～24日は、学校給食週間でした。
「タイムスリップ給食～昔の給食の歴史を学ぼう～」のテーマのもと、学校給食の歴史や食事のマナーへの理解を深めたり、いつも材料を届けてくださる生産者の方々に感謝の気持ちを伝えたりしました。

日本で最初の給食は、1889年新潟県鶴岡市の私立忠愛小学校の給食で、「おにぎり、しゃけ、菜のつけもの」だったそうです。当時を再現した給食を食べた子供たちは「昔は少なかった」「今はたくさんの種類があって、幸せだな」などの感想をもちました。また、箸のもち方を学び、「マナーアップ豆つまみ大会」では、すべりやすい大豆を箸で丁寧につまんで運びました。「箸のもち方が正しくないと、うまくもてない」という声が聞こえてくるなど、豆つまみを通して、箸を正しくもつことの大切さを感じました。

子供たちは、給食週間を通して、普段食べている給食には歴史があり、様々な人が協力して提供されていることを学びました。学校給食は「生きた教材」です。毎日の給食で体験する様々な経験によって、子供たちの食生活を豊かにし、心も体も元気に過ごすことができるよう、これからも指導していきます。



給食主任 塚本 志織

教育活動から



スキー学習では、全校元気よく安全に楽しく学習することができました。

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



ぽかぽかコラム～3年生の取組から～

3年生は帰りの会に「super タイム」という時間を設けています。「super タイム」とは、3年生の学年目標のキーワードである「進んで」「挑戦」「力を合わせる」に取り組もうとしている友達を紹介する時間のことです。

1学期から継続して行ったことで、「Aさんが体育の時に進んでマットの片付けをされていて super だと思いました。」といった言い方から、「Bさんが体育の跳び箱の授業でなかなか跳べなかったときに、Cさんが『こうしたら跳べるよ！やってみよう！』とアドバイスをしたら、跳ぶことができている、温かい言葉がけができる super だと思いました。だから、私もCさんのように、アドバイスをしたり、Bさんのように苦手なことにも挑戦したいです。」というように、その言動のどんなところが super だったのか具体的に表現したり、自分に取り入れようと考えたりすることができる児童が増えてきました。また、聞き手は体の向きを話し手に向けて聞いたり、自分もそうしたいなと思ったときには頷きながら聞いたりする姿がみられるようになりました。これからも、みんなで super な行動を共有し、認め合い、より一層高め合うことのできる集団になれるよう取り組んでいきます。



3年生担任 長谷 朋世